

# 共産党議員団、新型コロナで市に13回目の申し入れ

## 市議会アイヌ議連が アイヌ協会の要望を受け取る

9日、共産党議員も参加する市議会アイヌ議連が、阿寒・釧路の二つのアイヌ協会から政策要望書を受け取りました。村上かずしげ議員が参加しました。

アイヌ協会の要望は、

- アイヌ政策推進交付金の増額及び条件緩和を国に働きかけてもらいたい。
  - ウポポイのサテライトを阿寒湖のクラフトセンターに整備してもらいたい。
  - アイヌ文化の伝承のため、若い方が入居できる担い手育成施設を阿寒湖につくってほしい。
  - 釧路市のアイヌ共同納骨堂が劣化していることから改修してほしい。
  - 春採生活館を常時開館させておくために、コーディネーターを常駐させてほしい。
- などです。

村上議員は、所属する民生福祉常任委員会が所管する事項について、9月議会の委員会で質問しようと考えています。



**ワクチン接種の問題でも**  
先週の通信でお知らせしたようにワクチン接種でも近くのところでは接種予約が取れない問題がありました。ファイザー製のワクチンを急ぎよ追加したことで、対応しましたが、伴副市長は、「ワクチン接種がこれまでと比べ低調であり、なん

共産党市議団は、新型コロナの第7波の大流行を受けて、10日、釧路市に対して緊急の申し入れを行いました。党議員団が、新型コロナについて、市に申し入れるのは今回で13回目になります。また、25日には、釧路保健所を訪ねて懇談と調査を行う予定です。



とかみなさんに接種していただきたい」と話しました。子どもの接種も低調です。

## 病院と、自宅療養者には

新規感染者の多くは軽症であれば、自宅療養になっています。

西村議員は、「自宅療養された方にお聞きしたが、一番困ったのは食料のこと。保健所から食料が届けられることになっているが、配達されるまで一週間かかった」ことを指摘しました。配送は委託業者にお願いしているようですが、そうしたところにも手が回っていない現実があるのかもしれない。

梅津議員は、「すでに発熱外来がパンク状況で、全員のPCR検査がこなせなくなっている」状況を説明、医療機関への強い支援を求めました。

## 市長の発信力が問われる

今回の申し入れのポイントの一つが市長の市民への発信が弱いこと。これでは市がどういうスタンスでコロナ対策に取り組んでいるのかわかりません。流行のたびに、市長としての市民向けの直接の情報発信をするよう強く求めました。